

会派結成から約1年、我々は二人三脚で日々様々な活動を行っています。全てはなかなか難しいので今回はその一部をご紹介します。やる気、行動力NO.1の吹田新選会にご期待下さい!!

吹田新選会の足跡

大阪教育維新を市町村からはじめる会



定期的に橋下知事や府下全域の市議会議員と懇談し、大阪の教育問題について意見交換をしています。

関西一円の若手市長と意見交換



同世代の市長と意見交換し、斬新な政策を学んだり我々世代の政治課題を研究しています。

ラジオ出演



ラジオ番組に出演し、吹田市のPRや自分たちの活動への思いや将来ビジョンを広報します。

視察、勉強会



学校・農業現場・原発の視察や歴史・食育・財政の勉強会など、共に行動し様々な研修を重ねています。

親学の推進



高橋史郎先生を講師に招き、「親が変われば子供が変わる」を信条とし、親学の勉強会や講演会などを開催しています。

講演会・シンポジウムの主催



学生、経済人といった方々とも協力し、吹田市の枠を超えて多くの講演会やシンポジウムを主催しています。

インターン生の受け入れ



二人で10人近い学生を受け入れ、政治や社会ルールについて指導し、明日の日本を支える人材の育成に力を注いでいます。

ネットワークの構築



全国の若手議員で、新しい政治家の集いの場を作っています。月に一度は皆で集まり政策論や天下国家について議論しています。

青少年の育成



まちづくりは人づくりから。キャンプや自然体験など、子供たちの学びの場を作り、彼らの成長を応援しています。

TOPICS 会派結成から一年。二人のコンビネーションも磨かれ、力を合わせてより大きな仕事に取り組んでおります!

政治に「誠」まちに「夢」人に大きな「志」



吹田市議会議員
かみや ソウヘイ
神谷 宗幣

PROFILE
神谷 宗幣 (かみや ソウヘイ)
昭和52年 福井県大飯郡高浜町生まれ
福井県立若狭高等学校卒。関西大学在学中に1年間海外をまわり、自分を含めた今の日本の若者はこれでいいのか、と疑問を抱く。大学卒業後、高校教師の経験を経て関西大学法科大学院へ進学し、平成19年3月卒業後、4月の統一地方選挙で吹田市議会議員に初当選。「変えよう! 若者の意識」をキャッチフレーズに、吹田市の教育の充実を目指し活動中!

挑戦する勇気・守るやさしさ・創る情熱



吹田市議会議員
いしかわ まさる
石川 勝

PROFILE
石川 勝 (いしかわ まさる)
昭和43年 吹田市垂水町生まれ
北千里高校7期生・神戸学院大学法学部卒。24歳の頃より「時代を創るのは青年の使命である」との思いで「まちづくり運動」に関わる。主な経歴は吹田青年会議所理事長、豊一小PTA会長、ボランティアフェスティバル実行委員長。「挑戦する勇気・守るやさしさ・創る情熱」を持って何事も「とことん、やります!」今年の自己目標は周囲を笑顔にできるような「太陽のような存在」を目指しています。

あいさつ

政権交代が実現し、日本の政治に大きな変化が起ころうとしています。それでもすぐに経済状況が良くなることは考えられず、今後厳しさを増すことが予想されますし、地方主権の流れで、地方自治体の責任は一層大きくなります。そうした動きの中で、今後吹田市に求められる4つの重点政策を会派を代表して訴えました。それは、①優秀な人材の登用・育成・活用、②財政支出や業務・組織のスリム化、③民間活力の活用、④若い世代が集まる独自性をもった教育施策の推進です。中でも②は急務であり、あまりにいびつな吹田市の人事体制(裏面に詳細)について市長に早急な見直しを求めましたが、様々な理由をつけ、課題を先送りするような回答でした。「できない理由」を挙げていても政治は全く改善しません。我々は時代の流れと市民の要望を汲み取って「やるべきこと」を明確にし、「出来る可能性」を考える活動を進めていく所存です。

あいさつ

今回の本会議個人質問では
①教育基本法第十条に定めている「親の責任」と「行政の役割」
②用途地域の見直しに関すること
③市の財産となる起業家育成
④まちづくり運動の通過点である高浜橋ライトアップへの期待
⑤日頃の政治活動を通じて要望を受けている事柄について質問並びに提案をしました。また数々の補正予算が審議されましたが、歴史に残る国政選挙直後の不安定な時期であり、吹田市議会で決めたことが実際に執行できるのかが不安ですが、市民生活に支障がでないように神谷議員と共に今後もしっかりと監視し、我々だからこそできるハイスピードな政治を推進していきます。市民みなさまからの貴重なご意見・ご要望をお待ちしております。

ホームページは毎日更新しております。
<http://www.kamiyasohei.jp>

【自宅】吹田市山田東4-41 5-814号
TEL・FAX:06-6567-8750
【事務所】吹田市泉町1-3-40 市役所3F
TEL:06-6337-6928(直通)
E-mail: info@kamiyasohei.jp

活動内容はブログで。
http://blog.livedoor.jp/ishikawa_masaru

【連絡先】
吹田市垂水町1-31-22 石川まさる事務所
TEL:06-6337-7701 / FAX:06-6337-7702
mail: ishikawa@wish.ocn.ne.jp



ポスター掲示のお願い
吹田新選会では、来年年明けより市内各所で、会派合同の市政報告会を計画しています。この度その告知ポスターを作成しましたので、その掲示場所をお貸しいただけないかと思えます。御協力いただける方がいらっしゃいましたら、石川か神谷までご連絡下さい。
神谷宗幣事務所 TEL:06-6385-1230
石川勝事務所 TEL:06-6337-7701
第1回目の市政報告会は、平成22年1月15日 19時より
メイシアター 第一会議室 で予定しております。

<神谷宗幣> 市民まちかど相談所 無料 秘密 厳守 予約制
こんなお悩みございませんか?
・市政に関する要望・相談
・若者・障害者の就労支援
・住宅問題・住まい探し
・子育てや教育の悩み
・多重債務や金銭・法律トラブル
お気軽にお電話下さい。
◆ご予約先 吹田千里山郵便局 TEL 06-6385-1230 FAX 06-6385-1239
◆場所: 千里山行政書士事務所
◆開催日: 毎週月曜～金曜
「市民まちかど相談所」では、弁護士・司法書士・行政書士など専門家と連携し、問題解決への助言をさせていただきます。

最近、市民の方々から相談を受ける機会が増えてきました。相談者から「こんな相談を議員さんにしても良いかはわかりませんが…」との言葉をしばしば耳にします。しかし聞いてみると、何故もう少し早く相談してくれなかったのか?と思う事があります。生活と政治は深い関わりを持っているので、私はありとあらゆる相談に対応できるよう心掛けています。ご遠慮なく相談を!
■ご連絡先
TEL 06-6337-7701 FAX 06-6337-7702
■石川勝事務所
吹田市垂水町1-31-22(阪急豊津駅徒歩約8分)

石川勝の いつでも市民相談 無料 予約制

9月議会報告

「新選会議会質問」と「答弁」の概要

私たちが、みなさまの【声】を代弁します。

人事



上級管理職の配置見直しを！ [神谷 代表質問]

Q. 「部長級以上の職員が増え、命令系統や職務運営に支障が出ている」といった声を聞いた。調べると、現在本市には総括監級などの職員が16名、部長級が54名おられ、共済費を含めた人件費は前者の平均で年間約1430万円、後者で約1280万円ということ。合計すると70人で年間約9億2000万円の人件費。近隣他市の状況はどうか。本当にこんなにも人員が必要か。数字を聞いた市民が納得するとお考えか。

【意見】団塊の世代への温情人事ではないのか。他市と比較しても明らかに多すぎる。この不況の時代の市民感情を考えるべき。問題を先送りせず、早期の見直しを求める。

A. 近隣他市の部長級以上の職員数は、豊中市41人、茨木市18人、高槻市24人。地方分権時代を迎え、行政構造の改革を推し進め、政策の企画立案を担う政策官庁へ変わっていかねばならない。また、みんなで支えるまちづくりを進めるため、必要な部署に権限と責任を持つ部長級職員を配置し、多様化、複雑化する市民ニーズに的確に対応していく必要がある。



教育



NETいじめ。親が変われば、子どもも変わる。～行政の役割として更に対策を～ [石川 個人質問]

Q. 教育基本法第十条には、父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有するものであって、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。その2では、国及び地方公共団体は、家庭教育の自主性を尊重しつつ、保護者に対する学習の機会及び情報の提供その他の家庭教育を支援するために必要な施策を講ずるよう努めなければならないと明記されている。しかしNETいじめに関し親の責任感が希薄化しており、行政としても十分な責任を果たしていない。特に、情報提供や家庭支援施策が一部の親にしか行き渡っていない。

A. メール配信については高度情報化社会の成熟に伴う課題として捉えているが、保護者への情報提供については、より多くの皆様への提供や働きかけが重要であると捉えており、啓発事業などに参加いただけない方々にも対応できるよう様々な機会を通して継続的に行っていく。

まちづくり

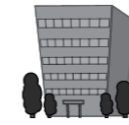


スポーツ産業都市構想を！！ [神谷 代表質問]

Q. 今年、アメフトのマーヴィーズと、野球のエキスポ70'sが本市に拠点を置き、活動を始めた。ガンバ大阪も合わせて3つのプロアマチームが本市に集まったのだから、こうした団体と協力して、スポーツを経済復興・地域活性化のツールとして位置づけた戦略を策定し、スポーツ産業都市構想を立ち上げてはどうか。アメリカで普及しているスポーツコミッション(スポーツを通じた地域振興を目指す組織)をつくり、チームのサポートをすると同時に、それぞれのチームに地域の活動にも今まで以上に参加してもらいながら、地域貢献をしてもらうことも要請してはどうか。

A. スポーツをひとつの産業として捉えた場合の市場性をはじめ、それらのクラブとの相互支援のあり方など、地域の活性化につながるよう、海外での事例についても今後研究していく。また、議員ご提案の、プロアマチームとの協働による大会や教室の開催など、「スポーツと健康のまち吹田」として、よりブランド力を高められるスポーツ振興施策の充実を検討していく。

まちづくり



用途地域の見直しにはビジョンを示せ [石川 個人質問] ～規制の強化と緩和。住民の意識共有を！～

Q. これまで提案してきた性風俗関連の店舗を寄せ付けないようにしようとする特別用途地区の指定に向け、着々と準備を進めていることを高く評価する。今後もビジョンをより明確にしブランド力を高めるべきだ。一方で、この度の用途地域見直しに関連して取り組もうとしている高さ制限については、商業系市街地などエリアによっては緩和すべきだ。それにより建坪を縮小し空地創り出すことも期待できる。空地は駐輪対策や人の流れをつくる通路などに利用されれば、まちに潤いのある賑わいが創りだされる。見解を求める。

A. 商業地域の容積率600%の区域では高さ制限は設けるものの、建物の後退距離に応じ高さの制限を緩和することで空間の創出をはかることとし、江坂地域など商業系用途地域については、地域住民の意見を参考に検討する。平成22年度中に都市計画決定の手続きを予定している。

教育



小中学校へのエアコンの早期設置と校舎の建て替え計画を！ [神谷 代表質問]

Q. 多くの市民の方からも、子供たちのために学校へのエアコン設置を進めて欲しいという意見が届いているが、阪口市長は学校へのエアコン設置についてどのような見解をお持ちか。また、エアコンを設置できたとしても、建設から40年以上も経った校舎の中ではそんなに長くは使えない。近々学校校舎の建て替えが必要なのはわかっているのだから、早く計画をたて、財源の手立てを考えるべきではないか。

A. (市長)エアコン設置については、地球環境への負荷が懸念されるので、「学校の森」づくりや緑のカーテン、校庭の芝生化やビオトープ等の総合的エコスクール活動の取り組みを優先する。また、校舎の建て替えについては、現在、学校施設の安全性の確保を最優先課題として、耐震化に取り組んでいるところなので、そのめどが立ってから協議。

【再質問】時期を明確にしないのはしないと言っているのと同じ。耐震化工事が終わり、次の計画を作れるのはいつ頃なのか。財源はないというのが新規の建設事業は市内各地で進んでいる。矛盾するのではないか。

【答】耐震化工事のめどがつくのは平成25年。

教育



土曜日の学校活用について [神谷 代表質問]

Q. 池田市立池田中学校では、市民ボランティアや学校の先生、学習塾の講師が連携し、土曜日に学校を開いて補習授業や英検の対策授業などを行っており、成果を挙げている。本市でも同じような取り組みをすべきではないか。小学校の土曜の校庭開放の全校実施は早期に見直しをかけ、上手くいっている地域にだけ残し、そうでない地域は校庭開放にかける労力や予算を新たな土曜スクールの開設にまわしてはどうか。池田市の例を参考に地域の方や塾の先生に協力を仰ぎ補習授業をする、また大学の先生や学生にお願いし学校より進んだ内容を勉強する、さらに本市にはプロアマのスポーツチームの協力で専門家によるスポーツ教室を開催してもらおうといったアイデアがあるが、採用できないか。

A. 土曜日を活用した補習授業等については、今後、確かな学力の定着やボランティアとの連携等の視点から、教育委員会として研究していきたい。

産業



江坂の一等地にインキュベート施設を！～検討会議を設置せよ～ [石川 個人質問]

Q. これまで何度も江坂のまちづくりにおける起業家支援の必要性を訴えてきた。特に、既に成功している企業が新たな起業家を支援する仕組みを構築すべきだ。しかし状況は進展するどころか、このままではEBC吹田の機能は自然消滅する。これまで関わってきた方々や、新たなアイデアを持っている方を募り検討を進めるべきだ。場の設置を求める。

A. ご指摘の通り、循環型経済の拠点として創業・起業支援のセンター的役割を果たす場を設けることは重要だ。インキュベートに関する検討会議を設置する提案を前向きに検討する。

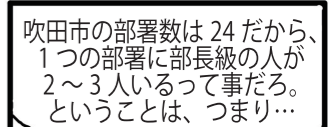
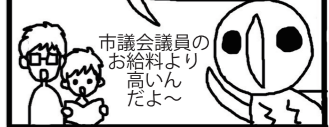
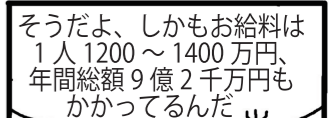
まちづくり



長年に渡るまちづくり・ひとづくり運動のシンボル～橋のライトアップの意義を市民に示せ～ [石川 個人質問]

Q. 高浜橋のライトアップは長年に渡る多くの方々による様々な取り組みのシンボルであり、今後もこれを活かしたまちづくり・ひとづくりが大いに期待される。しかし、本市としてその全体像・将来ビジョンについては明確に示されておらず、市民から誤解を招きかねない。この機会に市長を先頭に広く市民に説明責任を果たせ。市長の見解を求める。

A. これまで青年会議所や吹田まつり関係者をはじめ、多くの地元住民・企業の方々と共に、JR吹田駅前を起点とした商店街や歴史的な資源、都市に残された貴重なみどりや水を有する神崎川を活かしたまちづくりに取り組んできた。これを機に、今後も新たな賑わいを創出し、地域の活性化が促進されるものと考えており、更なる広報、公聴の充実に努め多くの市民の皆様からの御理解と御協力に支えられて進めていきたい。



市政への要望・不満、行政への質問など、なんでもお気軽にご相談ください。(連絡先は裏面)